

< 資料 - 1 >

八鹿町総合計画 改訂基本計画

(とがやま温泉部分抜粋)

平成13年3月
兵庫県八鹿町

第4節 観光の活性化

現状と課題

八鹿町への年間観光入込客数は、兵庫県立但馬長寿の郷のオープンにともない、171千人に達していますが（表3-5参照）但馬地域において入込客の少ない市町の一つとなっています。（観光客は自動車利用の県内からの日帰客が中心です。）

しかし、八鹿町には観光資源となる恵まれた自然環境・景観が存在しています。その代表である妙見山は自然公園に指定され、キャンプ場、遊歩道等の整備が行われています。今後、アクセス道路の改善が進めば、レクリエーション拠点としてのさらなる発展が期待できます。また、八鹿町高柳で温泉の泉源開発に成功しましたが、この「とがやま温泉」の利活用施設の整備が緊急の課題となっています。

表3-5 観光入込客の推移

（単位：千人）

年度	昭和60	昭和62	平成元年	平成3年	平成5年	平成7年	平成9年	平成11年
但馬地域	7,607	7,612	8,229	9,312	9,508	11,483	10,121	9,927
八鹿町	37	28	31	55	60	79	185	171

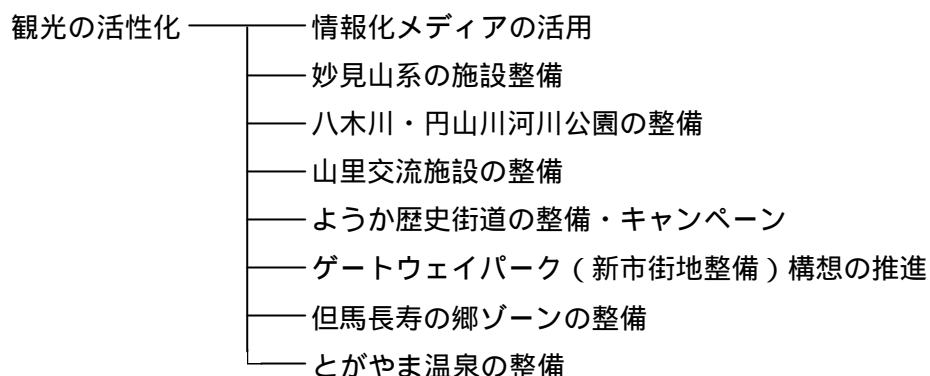
河川については、現在、八木川で河川公園の整備が進められています。円山川における親水性レクリエーションエリアの整備が今後の課題となっています。

一方、町内各地区には、棚田、里山といった日本の原風景が数多く残っています。また、八鹿ならではの塗り家づくり、三階建ての民家も点在しています。これらの景観、建造物を生かして、自然に親しみ、人と交わる中で、日本の田舎の生活を体験できる場づくりとして菜園や果樹園つき賃貸別荘や住宅の分譲など観光振興の観点から望まれます。

また、八鹿町には国重要文化財の名草神社三重塔に代表される豊富な文化財が存在しています。（国指定が4、県指定文化財が12）が、史跡・文化財の広域的観光拠点としての整備は今後課題となっています。

将来的にみると、八鹿町の観光・レクリエーションには大きなポテンシャルが秘められています。但馬長寿の郷の整備により、健康増進、レクリエーションや交流を目的とした観光客の訪問の増加が予想されます。また、将来開設が予定されている北近畿豊岡自動車道八鹿インターチェンジが、但馬西部地域への玄関口となることから、本町が広域的観光ルートの結節点となることが期待されます。そこで、こうした大型プロジェクトを生かして、観光活性化に向けた新たな施設整備を推進することが望まれます。

施策の体系



施策の概要

(1) 情報化メディアの活用

【基本方針】

八鹿町には、自然、文化、歴史資産が数多く残されており観光資源としての活用が期待されています。

このため、最新の情報媒体を活用し地域内外に観光情報の発信を行い、観光の活性化を推進します。

【事業内容及び事業展開】

CATVやホームページや携帯電話のiモードを活用し、リアルタイムな観光情報の発信を行い、観光客の誘致を推進します。

(2) 妙見山系の施設整備

【基本方針】

人と自然の共生、人々の交流の舞台として、余暇・レクリエーション施設、交流施設の整備を進めます。そして、将来的には周辺町との広域的な森林リゾートエリアの形成をめざします。

【事業内容及び事業展開】

アクセス道路の整備

関宮町と共に林道大ナル線の延伸を検討します。

レクリエーション施設、交流施設等の整備

名草神社周辺の景観美化と「妙見自然の家」の整備を進めます。日畑溪谷に関しては、釣場、わさび田等自然景観を生かした整備を進めます。

散策道、登山道等の整備

妙見山頂の整備、大ナル～妙見山頂～三重塔間及び山頂～北村台間の登山道整備、八鹿ダム周辺での散策道、公園整備を進めます。

(3) 八木川・円山川河川公園の整備

(p62,第5章第2節(2) 「河川公園の整備」参照)

(4) 山里交流施設の整備<主要プロジェクト>

【基本方針】

新緑空間ゾーン内において、自然と人の交流、都市と農村の交流、世代間交流の実践と、と伝統文化の継承、発展の場として、“里山”を活用した体験交流社会施設として、空き家など整備して活用し、ふるさと交流居住計画及びエコミュージアム運動を推進します。

【事業内容及び事業展開】

自然加工、伝統文化体験・研修施設の整備

食品加工、民芸品制作などを行う体験工房、セミナー、展示などが開催できる教室などとして、ふれあい倶楽部や、空家など整備して活用を図ります。また滞在施設として但馬長寿の郷を活用したり、空家の整備を進めます。

周辺施設の整備

施設周辺に屋外調理場、森の小径（散歩道）、林間広場等を整備します。

自然景観の保全・活用

里山一帯に広がる森林、雑木林や、周囲の野原、田畑等の保全・活用を図ります。

(5) ようか歴史街道の整備・キャンペーン<主要プロジェクト>

【基本方針】

「ようか歴史街道」という呼称により、八鹿町の過去から現代に至る歴史をたどることができる、文化財、史跡探訪ルートを設定し、町、住民が一体となって整備・キャンペーンを進めます。そして、他町との連携のもと、広域観光ルートへの組み入れをします。

【事業内容及び事業展開】

ルートの設定

宿南～八木、妙見間の旧街道筋においてルートを設定します。

施設の整備

案内、掲示板の設置、遊歩道、休息所、案内所の整備を進めます。

景観の保全・史跡の整備

大正期の面影が残る市街地のまちなみ景観の保全や八木城跡の公園整備を進めます。

キャンペーンの推進

「ようか歴史街道」のリーフレットの発行や各種観光イベントでのPRを実施します。

(6) ゲートウェイパーク（新市街地整備）構想の推進

(p26,第3章第2節(4)「ゲートウェイパーク（新市街地整備）構想の推進」参照)

(7) 但馬長寿の郷ゾーンの機能充実

【基本方針】

但馬長寿の郷及びとが山自然文化園の交流・集客機能を高める観光、レクリエーション施設の整備充実を進めます。

【事業内容及び事業展開】

都市との交流事業の推進

田舎のよさを見直すため、一時滞在して田舎生活を体験したり、都市生活者との交流活動を活発にするための交流事業を県と協力して推進していきます。

文化、スポーツ・レクリエーション施設の整備充実

とが山自然文化園の交流、集客機能充実に努めるとともに、但馬長寿の郷の交流施設と連携して文化・スポーツ・レクリエーション施設の整備充実を進めます。

(8) とがやま温泉の整備

【基本方針】

住民の健康保持と心身のリフレッシュ、さらには住民相互のふれあい交流施設として整備を進めます。

【事業内容及び事業展開】

高柳地区の泉源周辺に、周囲の景観とマッチした温泉入浴施設を整備します。